

キャラクター名  
閃崎 吉野

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ モルフェウス	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	無知	衝動	吸血	初期侵食率	32 %
出自	義理の両親	経験	記憶喪失	邂逅	師匠:立科 沙紀

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	1	0			2	行動値	15
感覚	5	0	2			7	(非装備時)	15
精神	1	0	0			1	戦闘移動	20
社会	1	0	0			1	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
▼破刃-煌-						
庖丁藤四郎(ナイフ)	白兵	7r+6				
剣の王城	白兵	7r+5	3	5+3		↑を複製した……という設定。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
◆一般アイテム	
ウェポンケース	
コネ:噂好きの友人	
ナイフ	
◆ユニークアイテム	
リーサルシャイン	
◆カスタマイズ	
・ネームド	
・ヒストリー	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
賢者の石	P	N		
義理の弟	P 慈愛	N 隔意		
立科 沙紀	P 尊敬	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
剣の王城	5	4	セットアップ	至近	自身	自動		
効果:	シーン間攻撃力+[Lv*2]、[Lv+1]個日本刀作成							
光の舞踏	1	2	メジャー	武器	-	白兵		
効果:	感覚で判定							
コンソントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	シンドローム		
効果:	いつもの							
キガソニックモード	1	3	メジャー	武器	範囲選択	白/射		
効果:	対象変更。攻撃後装備している武器破壊。							
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	シンドローム		
効果:	攻撃力+[Lv*5]							
七色の直感	★							
効果:	感情が見える。							
折り畳み	★							
効果:	刀を隠している。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

---概要---

義理の父親と暮らす普通の高校生。家は八百屋。店名は『N市飯坂青果店』  
 レネゲイドの事を知り、世界の情勢などを知ったがよく話が呑み込めず、イリーガルにもならず今までの生活を続けている。  
 元来父から「困った人がいたら助ける」と武士道を説かれており責任感強いほう。  
 (心の底では『八百屋が武士道を説くなよ』と思っているが)父の話す武士道とそれに関わる話は好き。  
 また、同時に余計な事に巻き込まれたくないという一般的尺度の考え方も持っており、トラブルの気配を察知した時点で鎮火ないし距離を置く動きを取る。  
 七色の直感を常時展開しておりその場にあった当たり障りのない話し方をする。

---来歴---

元々孤児であり、子の出来なかった両親に養子として迎えられた。  
 両親が離婚し一度母方について行ったがそこで兄弟が出来た。  
 可愛い弟だったがそれを期に新しい両親からの扱いが変わった。  
 母からは「離婚後すぐに子を成しな自分をどう思っているか」という恐怖  
 新しい父からは「君を自分の子を同じように愛さなければいけない」という責任めいた不自然な愛情表現。  
 そんな心理の変化が強く感じられるようになってしまった。  
 きっとお互いに不慣れなだけだった。時間をかければ自然な笑顔をお互い浮かべられた。  
 でも、私はその空気に耐えられなかった。  
 そうして家を飛び出し父の元へ戻ったのだ。  
 今思えばこの時すでにオーヴァードとして覚醒していたのかもしれない。